

# 日曹 スカウト®フロアブル

(SCOUT FL)

登録番号 第17253号  
 種類名 トラルロメトリン水和剤  
 tralomethrin  
 性状 類白色水和性粘稠懸濁液体  
 有効年限 4年

有効成分 トラルロメトリン 1.4%  
 PRTR トラルロメトリン(PRTR 1種) 1.4%  
 ポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニルエーテル(PRTR 1種) 2.0%  
 1,2,4-トリメチルベンゼン(PRTR 1種) 1.5%  
 毒性 医薬用外劇物  
 包装 (100mℓ×10本) × 6箱、500mℓ×20本

## ■特 長

1. 低薬量で広い範囲の害虫に対し、高い殺虫効果を示します。
2. 収穫間近まで使用できます。
3. 速効性があり、安定した効果が長続きします。
4. 有機りん剤・カーバメート剤などで効きにくくなった害虫にも有効です。
5. ピレスロイド特有の、害虫に対する忌避作用があります。
6. フロアブルなので作物に対する汚れが少なく、乳剤をきらう作物に対しても使用できます。
7. 泡が出ない製品なので、特にスピードスプレーヤなどの大型散布機械での使用に適しています。
8. 粉立ちもなく、薬剤の計量が簡単で散布液の沈殿もありません。
9. 各種作物に対し、薬害の少ない薬剤です。

## ■適用害虫名及び使用方法

(2018年7月13日現在)

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤およびトラロメトリンを含む 農薬の総使用回数	使用方法
りんご	ハマキムシ類、キンモンホソガ シンクイムシ類	2,000	200～700 ℓ/10a	収穫前日 まで	5回以内	散 布
	アブラムシ類、ギンモンハモグリガ	1,500～ 2,000				
おうとう	ショウジョウバエ類 オウトウハマダラミバエ	3,000			2回以内	
ラズベリー	オウトウショウジョウバエ					
ブルーベリー	ヒロヘリアオイラガ					
なし	カメムシ類	1,500			5回以内	
	アブラムシ類	1,500～ 2,000				
もも	ナシチビガ、シンクイムシ類	2,000			3回以内	
	アブラムシ類	2,000～ 3,000				
ネクタリン	モモハモグリガ シンクイムシ類	2,000				
	アブラムシ類					
すもも	シンクイムシ類	2,000～ 3,000				
	アブラムシ類					
うめ	アブラムシ類	2,000				
	カメムシ類					
小粒核果類 (うめ、すももを除く)	アブラムシ類	2,000～ 3,000	収穫14日 前まで	1回		
かき	カメムシ類	1,500	収穫7日 前まで	5回以内		
	アザミウマ類	2,000				
	カキノヘタムシガ	1,500～ 2,000				

殺 虫 剤 日曹スカウトフロアブル

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤およびトラロメトリンを含む農薬の総使用回数	使用方法			
ぶ ど う	ハマキムシ類	2,000	200 ~ 700 ℓ / 10a	収穫7日 前まで	3回以内	散 布			
	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ	2,000 ~ 3,000							
い ち じ く	アザミウマ類	2,000		収穫前日 まで					
び わ	アブラムシ類 ビワキジラミ			収穫3日 前まで					
キウイフルーツ	キイロマイコガ	1,500 ~ 2,000		収穫前日 まで			5回以内		
か ん き つ (みかんを除く)	チャノキイロアザミウマ ミカンハモグリガ	2,000 ~ 4,000		収穫3日 前まで					
み か ん									
は く さ い	ハイマダラノメイガ	2,000		100 ~ 300 ℓ / 10a			収穫前日 まで	3回以内	散 布
	キ ャ ベ ツ	アブラムシ類 コナガ、アオムシ ヨトウムシ							
		タマナギンウワバ ハイマダラノメイガ					2,000		
レ タ ス	アブラムシ類	1,500 ~ 3,000	収穫前日 まで						
アスパラガス に ん じ ん	ヨトウムシ	2,000	収穫7日 前まで		2回以内				
非結球あぶらな 科葉菜類(チンゲ ンサイを除く)					3回以内				
チンゲンサイ	ヨトウムシ	2,000	収穫前日 まで		2回以内				
だ い こ ん	カブラハバチ								
やまのいも	ナガイモコガ		収穫7日 前まで						
ブロッコリー	ヨトウムシ ハイマダラノメイガ		収穫前日 まで		2回以内				
な ば な 類	ヨトウムシ		収穫7日 前まで						
き ゆ う り	オンシツコナジラミ	3,000	収穫前日 まで	4回以内					
		2,000 ~ 3,000		3回以内					
な す	アブラムシ類	1,500 ~ 3,000		5回以内					
す い か メ ロ ン		2,000		2回以内					
た ま ね ぎ	ネギアザミウマ	2,000 ~ 3,000		5回以内					
さやえんどう 実えんどう	ナモグリバエ	1,500		2回以内					
ば れ い し ょ	アブラムシ類 テントウムシダマシ ジャガイモガ	2,000		5回以内					
し ょ う が	アワノメイガ	1,500		3回以内					
茶	チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ	3,000		200 ~ 400 ℓ / 10a	摘採7日 前まで	3回以内			

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤およびトラロメトリンを含む農薬の総使用回数	使用方法
花き類・観葉植物 (宿根かすみそう、グラジオラス、トルコギキョウ、りんどうを除く)	アブラムシ類	2,000～3,000	100～300 ℓ / 10a	—	5回以内	散布
グラジオラス トルコギキョウ	アザミウマ類	2,000				
宿根かすみそう	ヨトウムシ	2,000～3,000	100～700 ℓ / 10a			
りんどう	アブラムシ類					
	ヒラズハナアザミウマ	2,000	200～700 ℓ / 10a			
つつじ類	ツツジゲンバイ	2,000	200～700 ℓ / 10a			
芝	シバツトガ スジキリヨトウ	1,500	200～300 mℓ / m <sup>2</sup>	発生初期		

### △ 効果・薬害などの注意

1. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
2. りんごのキンモンホソガの防除に使用する場合、幼虫期では効果が劣るので成虫最多発生期に散布するよう特に留意してください。
3. ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - (1) ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
  - (2) 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
  - (3) 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
4. 蚕に対しては長期間毒性があるので、桑葉にかからないようにしてください。
5. かんきつ・茶での散布は、場合によりハダニ類が増えることがあるので注意してください。
6. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
7. 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

### △ 安全使用上の注意

8. 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体の異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
9. 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
10. かゆみを生じる場合があるので注意してください。
11. 散布の際は、防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
12. 街路、公園などで使用する場合は、散布中および散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

**治療法：**本剤による中毒の治療法としては動物実験で、メトカルバモール製剤の投与が有効であると報告されています。

**水産動植物への影響：**水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は河川などに流さないでください。また空容器等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

**保管：**密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に、カギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

- 
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤などで消火に努めてください。
  - 漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収してください。
  - 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
  - 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。空ビンは圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 

**散布液調製法**

※粘性があるので、あらかじめ少量の水でよく溶かしてから、所定量の水に溶かし、よく攪拌してください。  
ボルドー液と混用する場合は、必ず本手順を守ってください。